

ハスモンヨトウ情報第1号(ダイズ)

平成22年8月3日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

1 発生状況

フェロモントラップによるハスモンヨトウの7月の誘殺数は、吉良町で640頭（平年548頭）、長久手町で51頭（平年16頭）と平年並からやや多い状況で推移し、第6半旬に入って誘殺数が増加してきました（図1）。その他の地域（弥富市、安城市、豊田市）は平年並に推移しています。

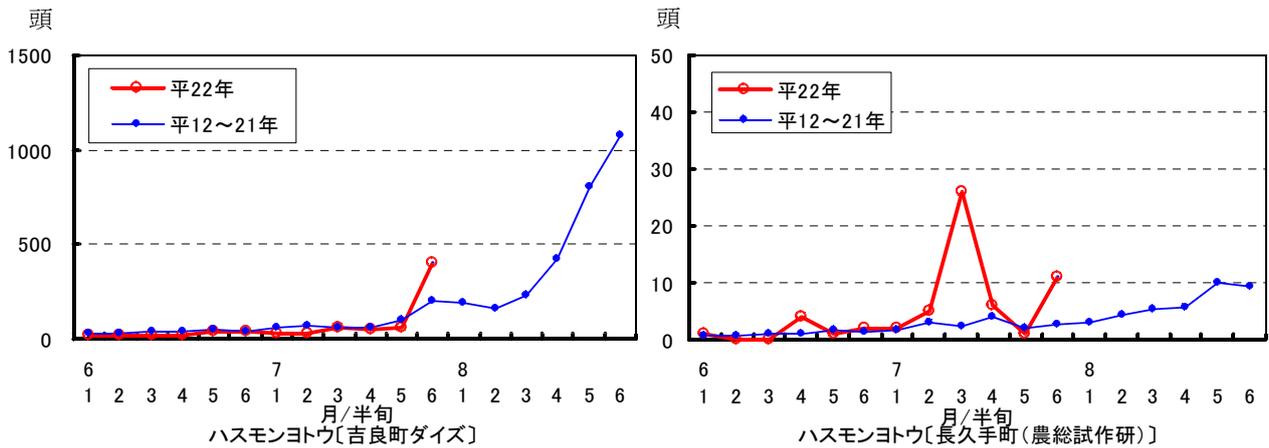


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数

2 今後の状況

気象予報によれば8月は気温が高く、ハスモンヨトウの発生に好適な条件が予想されているので、ほ場での今後の発生動向に注意が必要です。

ほ場での観察をしっかりと行い、白変葉(図2)および幼虫(図3)が見られたら表を参照して防除しましょう。



図2 ハスモンヨトウによるダイズの白変葉



図3 ハスモンヨトウの幼虫

表 ハスモンヨトウの主な防除薬剤と使用基準

作物名	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数/使用回数
ダイズ	ロムダンフロアブル	2,000倍	14日前/3回
	ラービンフロアブル	750~1,000倍	14日前/2回
	マッチ乳剤	3,000倍	14日前/2回
	トレボンEW	1,000倍	14日前/2回
	トルネードフロアブル	2,000倍	7日前/2回
	マトリックフロアブル	2,000~3,000倍	前日/3回